

# 地球に感謝の植林ご協力ありがとうございます

2012年2月現在

NPO アジア植林友好協会ご報告



緑ゆたかな地球を次世代に！～いまを生き未来につなぐ～

## いのち 「生命の森づくり」



あらゆる生命の源としての熱帯雨林の森の修復(エコロジー)とわたしたち人類が社会経済の営みをつづけるための森～社会生活の森づくり(エコノミー)を現場の立地条件の違いを組み合わせ、2か所に1本ずつ合計2本同時に実行できるようにしたシステム～Wエコ 2イン1システム～で推進しています。

### ■たくさんのおみなさまの深いご理解とご参加により

## 23,798本・森林修復面積 380,768 平方メートルを達成！

2003年開始から2012年2月末までに11,899セットご参加頂きました。

合計本数=23,798本の植林をさせていただきました。このことにより修復された草原は142,845㎡、荒廃した二次林の修復は237,980㎡、合計面積=380,825㎡(約115,384坪)に成りました。

合計植林本数=23,798本、森林修復面積=380,768㎡(約115,384坪)

### ※人類社会経済の森づくり 植林 11,899本約 142,788㎡(3m×4mに1本植林)

人間が何もしなければ500年あまりも破壊されたままで、自然の回復しない荒れ果てた草原に陽光と乾燥に強い「陽樹」チークを植林します。人間社会に幅広く役立つチークは、耐久性が高く長い間CO<sub>2</sub>を固定し続けます。生活のために木材を伐らなければならない地元の人たちの生計を支える林業を育成します。



伐採の繰り返しと移動焼き畑の繰り返しで、草原になりその後の山火事でさらに傷つき虫も鳥もいない不気味な静寂の世界が、今では虫も鳥も復活して、自然の息吹が感じられる状況になってきています。隣はパームオイルのプランテーションになったり、何もしないところは今も草原のままです。

### ※熱帯雨林再生の森づくり 植林 11,899本 237,980㎡(4m×5mに1本を樹下植林)

天然の熱帯雨林の主木を伐採されて、種子を落とす地場の樹種の母樹もなく、森のバランスが崩れて徐々に壊れてゆき、天然林の再生が不可能になっている森林には「陰樹」で将来主木に育つ地場の樹種を植林して、熱帯雨林の再生を目指します。



樹下植林をする

二次林の中で樹下植林

10年目でここまで育った

### ～「自然の力」～継続はチカラの証明～ ★100年後はこうなります

生命の森づくりは、「生命の森づくり」は、チークと地場の樹種の2本をセットで実行します。地場の樹種は永久の森として保全します。チークは10年毎に木材利用に活用し、植林費用をねん出・10回繰り返すと100年後2本1セット合計で3071本の森に育ち、52,291㎡の森になります。ですから、現在まで参加頂いた生命の森づくり、11,899セットは100年後は36百万本に育ち、東京ドーム約12000個の広さの森づくりにつながります。そして、CO<sub>2</sub>を吸収して、動物の生命維持に必要な酸素を放出して、水や大気の循環に貢献します。